



2012年5月21日

各 位

会 社 名 日清食品ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長・CEO 安藤 宏基
(コード番号 2897 東証・大証第1部)
問合せ先 執行役員 CAO・広報部長 服部 秀樹
電 話 (03) 3205-5252 (代表)

株式会社フレンテの株式追加取得(持分法適用会社化)に関するお知らせ

当社は、2011年5月11日付「株式会社フレンテとの業務・資本提携に関するお知らせ」において公表いたしましたとおり、株式会社フレンテ（以下「フレンテ」といいます。）との間で、両社間の業務・資本提携（以下「本業務・資本提携」といいます。）に関する契約（以下「本業務・資本提携契約」といいます。）を締結しておりますが、2012年5月21日の取締役会において、本業務・資本提携契約を変更する旨の契約（以下「本変更契約」といいます。）を締結し、フレンテが実施する第三者割当による新株式の発行（以下「本第三者割当」といいます。）の引受けと立会外市場取引によるフレンテ株式の追加取得により、フレンテを当社の持分法適用会社化することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 追加取得の理由

当社とフレンテは、両グループが目指す経営ビジョンの実現に向け、本業務・資本提携契約に従い設置された協働推進委員会(注)のもと、開発・マーケティング・調達・生産・営業といった事業活動全般における協働関係の構築・強化を進めてまいりました。

①商品開発およびマーケティングに関する分野では、「今までにない、楽しく、驚きのある、ユニークな商品作り」をテーマに2010年7月に立ち上げた「UNIQUE PROJECT」がさらに進展しました。具体的には、かかるプロジェクトの一環として、2011年6月には第3弾商品を発売しました。そして、第4弾となるコラボレーション商品を現在展開中であり、お客様から好評を得ております。また、新技術を活用した新規開発商品の取り組みも着々と進んでおります。②営業に関する分野では、大手企業への共同商談や営業支援システムの構築を検討するなど関係強化を図っております。③資材調達機能、生産機能、物流機能などの機能面に関する分野では、一部資材の共同調達を実施し、また、フレンテと共同して物流体制を見直すことにより、物流効率化を推し進めております。④フレンテとの間の人的交流も進んでおり、現在、当社の子会社である日清食品株式会社より出向者2名をフレンテの子会社である株式会社湖池屋に派遣しております。

本業務・資本提携契約においては、協働推進委員会において、本業務・資本提携の効果が十分に生じたものと判断された場合には、当社がフレンテ株式を追加取得し、フレンテの発行済株式総数の20%に相当する株式を保有することを検討するものとしていたところ、上記のとおり事業活動全般での協働関係が一層深まっている現状を踏まえ、今般、両グループの関係をより強固なものとするべく、本

変更契約を締結し、当社がフレンテ株式を追加取得して、当社はフレンテを持分法適用会社とするとともに、本業務・資本提携の内容の見直しを行うこととしました。

本変更契約による本業務・資本提携の変更によって、両社グループは、より一層、顧客に対する新たな価値の迅速かつ効率的な提供が可能となり、更なる企業価値の向上につなげることができるものと判断しております。

(注) 当社とフレンテは、業務提携の効果を迅速かつ最大に発揮させるため、機能別ワーキンググループを編成し、具体的な実行計画を立てて遂行して行くこととしており、各ワーキンググループの活動を総合的に取り纏める協働推進委員会（委員長：当社代表取締役社長・CEO 安藤宏基及びフレンテ代表取締役社長小池孝氏）を組織しております。

2. 変更後の本業務・資本提携の内容

(1) 業務提携に関する事項

業務提携については、主に以下の内容の相互協力を想定しています。なお、本変更契約の合意に基づき、協働推進委員会のもとで、具体的業務を速やかに協議・検討する予定です。

①商品開発およびマーケティングに関する提携内容

- a) 「UNIQUE PROJECT」を基軸として両社のもつブランドと独自の技術の掛け合わせにより商品ラインアップを拡充し、新たなブランド価値の創造を行う。
- b) 両社がこれまで牽引してきたスナック菓子および即席めんのカテゴリーを横断した、これまでにない新たなコンセプトブランドの創造・育成を行う。

②営業に関する提携内容

両社の菓子流通および即席めん流通チャネルにおける強みを掛け合わせ、流通の全業態・全エリアでの営業協力を行い、両社グループのマーケット力を向上させる。

③機能面に関する提携内容

- a) 資材調達に関し、共同調達の拡大実施および新たな調達方法の検討を行う。
- b) 両社グループの最適な生産技術の開発および物流ラインの相互利用を行う。
- c) 業界随一の安全・安心体制の更なる向上を目指し、品質検査機能の共有化を行う。

④海外事業に関する提携内容

- a) 両社海外事業のグローバル化を目的とした最適ビジネスモデルの構築を進める。
- b) 海外現地のマーケティング調査データの共有を行う。

⑤人的交流

- a) 事業活動の効率化および迅速化を図るために人材の相互交流を行う。
- b) 当社は資本提携に沿ってフレンテの経営に関与する人材を出向させる。

(2) 資本提携に関する事項

本日現在、当社は、フレンテの発行済株式総数の 5.03%に相当する数の株式を保有しています。

当社とフレンテは、以下の方法により、当社がフレンテの株式を追加取得し、当社はフレンテを持分法適用会社とします。

まず、当社は、下記「5. 取得株式数、取得価格および取得前後の保有株式の状況」のとおり、第三者割当によるフレンテの新株式 653,000 株を当社が全て引き受けることとします。これにより、当社は、フレンテの発行済株式総数の 19.00%に相当する数の株式を保有することとなります。

その後、当社は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律第 10 条第 2 項に基づく株式取得に関する届出についての法定待機期間が経過し、かつ、排除措置命令を行わない旨の通知書を受領していることを条件として、2012 年 8 月下旬を目処に、フレンテ主要株主が保有するフレンテ株式のうち 44,500 株(フレンテの発行済株式総数の 1%に相当)を立会外市場取引により取得するこ

とします（以下「本株式取得」といいます。）。これにより、当社は、フレンテの発行済株式総数の20.00%に相当する数の株式を保有することとなります。

3. 両社の概要

(1) フレンテ（2011年12月31日現在）

(1) 商号	株式会社フレンテ		
(2) 本店所在地	東京都板橋区成増五丁目9番7号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小池 孝		
(4) 事業内容	スナック菓子の製造販売を行う会社などを傘下に持つ持株会社		
(5) 資本金の額	401百万円		
(6) 設立年月	1977年1月（子会社である株式会社湖池屋は1948年1月設立）		
(7) 従業員数（連結）	432名		
(8) 大株主及び持株比率	小池 孝	24.05%	
	小池 陽子	12.86%	
	岸田 篤子	8.45%	
(9) 最近3年間の経営成績及び財政状態（連結）	（単位：百万円）		
	2009年6月期	2010年6月期	2011年6月期
純資産	8,494	9,368	9,487
総資産	18,351	17,420	17,668
1株当たり純資産（円）	2,242.09	2,472.97	2,503.58
売上高	32,330	35,172	33,547
営業利益	1,650	1,681	519
経常利益	1,688	1,692	570
当期純利益	730	1,040	321
1株当たり当期純利益（円）	192.97	274.60	84.88
1株当たり配当金（円）	52.50	57.50	52.50
発行済株式総数（株）	3,788,000	3,788,000	3,788,000

(2) 当社（2012年3月31日現在）

(1) 商号	日清食品ホールディングス株式会社		
(2) 本店所在地	大阪市淀川区西中島四丁目1番1号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長・CEO 安藤 宏基		
(4) 事業内容	即席めんを主とする食品製造販売を行う会社などを傘下に持つ持株会社		
(5) 資本金の額	25,122百万円		
(6) 設立年月	1948年9月		
(7) 従業員数（連結）	7,648名(2011年9月30日)		
(8) 大株主及び持株比率 (2011年9月30日)	財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団	6.72%	
	三菱商事株式会社	6.64%	
	伊藤忠商事株式会社	6.64%	
(9) 当社と当事会社の関係	資本関係	当社は、フレンテの発行済株式総数の5.03%を保有しております。	

	取引関係	<p>業務提携先。提携の具体的内容は以下のとおりです。</p> <p>①商品開発およびマーケティングに関する分野</p> <p>a)「UNIQUE PROJECT」を基軸として両社のもつブランドと独自の技術の掛け合わせにより商品ラインアップを拡充し、新たなブランド価値の創造を行う。</p> <p>b)両社がこれまで牽引してきたスナック菓子および即席めんのカテゴリーを横断した、これまでにない新たなコンセプトブランドの創造・育成を行う。</p> <p>②営業に関する分野</p> <p>両社の菓子流通および即席めん流通チャネルにおける強みを掛け合わせ、流通の全業態・全エリアでの営業協力を行う。</p> <p>③資材調達機能、生産機能、物流機能などの機能面および安全に関する分野</p> <p>a)資材調達に関し、共同調達の実施および新たな調達方法の検討を行う。</p> <p>b)両社間の最適な生産および物流ラインの相互利用を行う。</p> <p>c)業界随一の安全・安心体制の更なる向上を目指し、品質検査機能の共有化を行う。</p> <p>④海外事業に関する分野</p> <p>a)両社海外事業の収益構造の向上を目的としたビジネスモデルの検討を進める。</p> <p>b)海外現地のマーケティング調査データの共有を行う。</p>		
	人的関係	<p>当社子会社である日清食品株式会社より出向者2名をフレンテの子会社である株式会社湖池屋に派遣しています。</p>		
	関連当事者への該当状況	<p>該当事項はありません。</p>		
(10) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態(連結) (単位:百万円)				
		2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
純資産		271,951	277,595	286,657
総資産		408,410	409,748	414,717
1株当たり純資産(円)		2,406.26	2,454.67	2,545.31
売上高		371,178	374,932	380,674
営業利益		27,341	34,537	26,211
経常利益		32,794	36,418	28,099
当期純利益		20,496	20,756	18,538
1株当たり当期純利益(円)		177.02	187.56	167.97
1株当たり配当金(円)		60.00	70.00	75.00
発行済株式総数(株)		117,463,685	117,463,685	117,463,685

4. 日程

取締役会決議	2012年5月21日(月)
本変更契約締結	2012年5月21日(月)
本第三者割当払込日	2012年6月20日(水)
本株式取得	2012年8月下旬(予定)

5. 取得株式数、取得価格および取得前後の保有株式の状況

(1) 第三者割当増資(2012年6月20日)による株式取得

異動前の所有株式数 (2012年5月20日現在)	190,700株(議決権数:1,907個) (議決権所有割合:5.04%)
取得株式数	653,000株(議決権数:6,530個) (取得価格:2,110円)
異動後	843,700株(議決権数:8,437個) (議決権所有割合:19.00%)

(2) 立会外市場取引(2012年8月下旬予定)による株式取得

異動前の所有株式数 (2012年6月20日現在)	843,700株(議決権数:8,437個) (議決権所有割合:19.00%)
取得株式数	44,500株(議決権数:445個) (議決権所有割合:1.00%)
異動後	888,200株(議決権数:8,882個) (議決権所有割合:20.00%)

(注) 異動前及び異動後の議決権所有割合は、フレンテの第36期第2四半期報告書(2012年2月14日 関東財務局提出)に記載された、2011年12月31日現在の総株主における議決権数37,869個(単元未満株式を除く。)に、本第三者割当に伴い増加する議決権の数(6,530個)を加えた議決権の数(44,399個)を分母としております。

<参考>

フレンテの第三者割当増資の概要

(1) 発行期日(払込期日)	2012年6月20日(水)
(2) 発行新株式数	普通株式653,000株
(3) 発行価額	1株につき2,110円
(4) 発行価額の総額	1,377,830,000円
(5) 資本組入額	1株につき1,055円
(6) 資本組入額の総額	688,915,000円
(7) 募集又は割当方法 (割当先)	第三者割当により日清食品ホールディングス株式会社に全株式を割当てる。

6. 今後の見通し

本件が、当社の2013年3月期の個別業績及び連結業績に与える影響は、軽微と見込んでおります。

以上

※この資料は、次の記者クラブに配布します。

兜俱樂部(東証)、農政クラブ、東商クラブ、大阪証券記者クラブ(大証)、大阪商工記者会